



とんがりぼうし 42号 令和4年 2月発行

CONTENTS

- ・クリスマス会
- ・園内夕食会
- ・バレンタインお菓子作り
- ・おやつ代行
- ・作業風景
- ・新作パンのお知らせ
- ・編集後記



作業風景

箱折り、アイロン掛け、パン作り等の生産活動を行っています。密を避けるために時間帯をずらしたり、利用者ごとに作業日を変える事で対策しています。普段の様子と作業中とは雰囲気ガラッと変わる利用者も多いです。熱中しすぎて体調を崩す事の無いよう、休憩時には水分補給が欠かせません。



新作パン

とんがり工房より、新作のご案内です。左から「明太フランス」「シュガーフランス」「塩だれチキンパン」「沖縄紅芋あんパン」です。是非ご賞味下さい。



編集後記

123



エンジェルナンバーって？

レシートの数字や、ふと見た時計など、同じ数字の並びを続けて見る事、ありませんか？こういうの、エンジェルナンバーって呼ぶらしいです。言い換えれば、数字による天使からのメッセージ。ロマンチックですね。例えば「111」をよく目にする人には『意識を高く持ちましょう』、「24」だと『天使が道に迷ったあなたを助けます』といった言葉を、天使が贈ってくれているのです。他の数字も、ぜひ調べてみて下さい。

さて。この広報誌「とんがりぼうし」も42号目を迎える事ができました（最初は白黒でした！）。これも読んでいただける皆様のおかげです。ただ、この42という数字。日本では縁起が悪いとされていますよね。しかも令和4年2月発行。。42が続いてしまいました。そう、残念ながら数字を数えていけば、必ずこの数字はやってくるのです。

でも悲観してはいけません。この広報誌を破り捨ててもいいけません。こんなときはそう！エンジェルナンバーです。42にも勿論メッセージが込められています。内容は...『信じる心を持ち続けましょう』。いい言葉ですね。

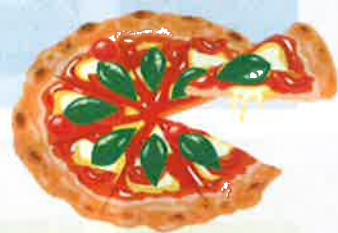
時計を見たら4時2分だったり、整理券が42番だったりして憂鬱になった経験、ありますよね。そんな時はこのメッセージ、思い出してみてください。時には天使の言葉に背中を押してもらっても、いいのではないのでしょうか。

発行：社会福祉法人恒徳会 董授園

編集：渡辺 神戸 発行責任者：佐藤吉信

園内夕食会

コロナ禍において、テイクアウトの楽しさを知った方は多いのではないのでしょうか。董授園ではお寿司屋さんや喫茶店、レストランといったお店のメニューを職員が「ウーバーイーツ」しています。定番人気メニューを選ぶのもいいですが、ちょっと変わったメニューを選ぶのも園内夕食会ならではの楽しみです。



バレンタインお菓子作り

去年好評だったバレンタインイベントを今年も行いました。前回よりも参加者が増え、にぎやかな雰囲気の中、皆さん上手にお菓子をデコレーションして下さいました。甘い物はエネルギー源になる他に、リラックス効果も期待できます。手先もたくさん動かし、心身ともに良い刺激になったと思います。



おやつ代行

恵方巻やスイーツの代行日を作りました。夕食会とは違い、おやつ時間に提供し、各自居室にて召し上がっていただきました。皆さんあっという間に食べ終えてしまいましたが、写真の通り、たくさんの笑顔が見られ、満足いただけた様子が伺えます。2022年の恵方巻の向きは北北西のやや北でした。何人かの方に事前にその方角はどの向きかを尋ねられたので、きっと無病息災が叶う事でしょう。



クリスマス会



今年も会場を2つに分け、密を避けての開催となりました。佐藤施設長は就任して初めての、猪野課長は異動して初めての行事という事で、当日は二人ともサンタに扮して会場を盛り上げてくれました。今年もコロナによる自粛生活が続きましたが、この日ばかりは皆さん心から楽しんで頂けたように感じます。クリスマス会の食事メニューは普段よりボリュームがあるので食べ過ぎて苦しい、と話していた方もいたようですが…。恒例のクイズの時間は、佐藤施設長と猪野課長にまつわる問題がたくさん出ました。このクイズを通して、利用者との距離も縮まったのではないのでしょうか。ここで一題だけ抜粋します。Q. 佐藤施設長の趣味はなんでしょう? ... 答えは「サイクリング」でした。爽やかですね。来年こそはみんなで一つの会場に集まって開催できるよう、コロナ終息を願っています。

